

エールフランス、Test Advisorにより ソフトウェアテストをアジャイル化



「エールフランス KLM の B2C オンライン予約サイトは最重要商品のひとつであり、エールフランス KLM の売上の大部分はここから生まれます。その複雑さゆえに、それぞれの機能や法規上の開発には、お客様が期待するサービスの品質を維持するために大量のリグレッションテストが必要となります。それはつまり、既存のテストを再実行して、変更箇所によってそれまで機能していたものに障害が生じていないかどうかを検証することです」

Philippe Bordas

エールフランス KLM メソッド・テストマネージャ

ビジネスの概要と課題

エールフランスは、1933 年の創立以来、大手航空会社の一角を占めてきました。2003 年の KLM との合併により、エールフランスは世界第 5 位の会社となり、ハブ空港であるシャルルドゴール空港とスキポール空港から 7,700 万人を超える乗客を運んでいます。2013 年度の売上高は 250 億ユーロを上回りました。

エールフランスでは、商品の改善に向けて進行中の取り組みの一環として、“Transform 2015” という計画に着手しています。この計画の目的は、競争力を取り戻して、自社の商品とカスタマーサービスを世界でも屈指のものとする事です。この計画の中には、ソフトウェア開発チームを反復開発型からアジャイル型に移行させるという内容も含まれています。

AirFrance.com と AirFrance.fr の Web サイトは、一般旅行者がエールフランスのフライトの計画と予約、e チケットの購入を行うための主要なポータルサイトです。Alexa のベンチマーク結果によると、この 2 つのサイトは世界の Web トラフィック数で 11,603 位と 6,512 位であり、どちらもこの 3 カ月で 900 位以上順位を上げています（2014 年 6 月時点）。

エールフランスが自社カスタマーに向けて Web サイトの更新を実施する際には、休止時間が発生することは決して許されません。ユーザー体験にどのような問題があっても、それは売上の減少につながる可能性があります。そのため、エールフランスの Web サイトは本稼働に入る前にユーザーが問題なくアクセスできるようにすることが必要です。

コベリティの導入による利益実現

2013 年にエールフランスは、自社が提供するソフトウェアの品質向上のため、Test Advisor を選定しました。購入にあたり目指したものは、ソフトウェアの提供に要する時間を短縮し、アジャイル型への移行を支援することでした。コベリティのソリューションを最初に導入したのは、AirFrance.fr のポータルサイトでした。

AirFrance.fr のリグレッションテストは、以前は 3 カ月の開発サイクルごとに 3 週間かかっていました。目標としたのは開発サイクルを 1 カ月に短縮することですが、それによって QA チームは最も重要な試験に的を絞る必要が出てきます。試験計画の対象範囲に関する検討を支援する目的で、エールフランスに Test Advisor が導入されました。「現代では、私たちは適時性がキーワードとなる世界で働いています。試験に要する時間とコストの削減は、エールフランスにとって極めて重要な要素です。私たちが目標としたのは、再実施すべきテストの的を適切に絞り、ソフトウェアの提供を 15 日以内に行うことでした」と、メソッド & テストコンピテンスセンターのテストエキスパートである Jean-Louis Sanchez は説明しています。

エールフランス KLM のメソッド・テストマネージャである Philippe Bordas は、次のように付け加えています。「私たちは、無駄を省き、時間を一切失うことなくあらゆるリスクを即座

ビジネス上の利点

- テストのギャップを特定
最近変更されたコードに存在するテストのギャップを探し出すことにより、リグレッションのリスクを低減できます。
- テストカバレッジのスコア化
コードの変更で生じる影響度に基づいてテストをスコア化することにより、QA チームはバグやリグレッションのリスクが隠れている場所にテストの的を絞ることが可能となります。
- テストカバレッジを可視化
開発ライフサイクルを通じて実施されたテストの結果を集計することにより、冗長なテストを削減し、より重要なマニュアルテストに集中できます。
- モデルフューチャーテストカバレッジ
テストカバレッジを高いレベルに保った上で、作業を妨げる冗長なテストを排除します。

「B2C カスタマーの増加と生産サイクルタイムの短縮に直面する中で、異なるテストレイヤー（インテグレーション、ユニット、システム）を組み合わせることによってテスト内の欠落部を無限の精度で特定し、ポータルサイトの潜在的欠陥を浮き彫りにすることができるソリューションは、Test Advisor - QA が唯一のものでした」

Philippe Bordas

エールフランス KLM メソッド・テストマネージャ

に特定できるよう努めるという理念に専念していますが、それはつまりアジリティの向上に励むということであり、商品とカスタマーサービスを世界最高レベルのものにするというエールフランスの変革計画にも完全に含まれるものです」

アジャイルへの移行はエールフランスの "Transform 2015" 計画の土台であり、コベリティはこの変革の一部を担っています。テスト環境の自動化と理解は主要な要件となりました。現在、新たなソフトウェアがリリースに向けて開発されており、Test Advisor がコードの変更点を解析し、欠陥のために AirFrance.fr の性能に影響が生じかねないテスト計画の欠落部をレポートします。

エールフランスでは継続的インテグレーション（CI）システムを導入しており、毎晩自動的にテストを実行しています。このプロセスによって、開発チームは課題によって問題が発生する前にそれを特定することができます。

Test Advisor のインテグレーションによって、それまでに実施済みの全テストが集約されたビューを用いて開発から導入までのテストをより効果的に行い、本稼働に入る前にリスクを解消することが可能となります。Jean-Louis Sanchez はこのインテグレーションの利点を次のように力説しています。「Test Advisor は、ビジネス担当者、アプリケーション開発者、テスターの間の調整を行う、まさに画期的なイノベーションです」

まとめ

反復型／ウォーターフォール型の開発からアジャイル型開発への移行では、開発チームに多くの課題が生じます。導入までの期間が短いことが利点ですが、その一方で、バグのないコードを設計するという重い責任がチームメンバー全員に生じます。テストサイクルが短縮されるにつれ、チームは最新ツールを用いた適切なテスト方針を構築することが必要となります。

Test Advisor を用いることでテスターは最も効果的なテストを特定できるようになります。さらに重要な点として、テスターはテストに欠落が生じる箇所を特定し、その欠落箇所をカバーする新たなテストを作成することが可能です。その結果、よりバグの少ない状態で製品の運用を開始することができるため、エールフランスはカスタマーに安定した Web サイトを提供することが可能となります。

